

## 幼稚園幼児指導要録の様式の参考例（イメージ）について

## 様式に示す記入上の留意事項案

様式の下に示す記入上の留意事項に以下のような内容を追加してはどうか。

○指導上参考となる事項：

- ・ 最終年度の記入に当たっては、小学校等における児童の指導に活かされるよう、幼稚園教育要領第1章総則に示された「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用して幼児の発達の姿について偏りや不足がないかを確認し、育ちつつある姿と指導の過程をわかりやすく記入すること。
- ・ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が到達すべき目標ではないことや個別に取り出して指導するものではないことに留意し、項目別に記入しないように留意すること。

○備考欄：

- ・ 教育課程の教育時間の終了後等に行う教育活動を行っている場合には、必要に応じて当該教育活動を通して幼児の発達の姿を記入することも可能であること。

## 各様式の改善の考え方

(A)

・ 満3歳～5歳児を一つの様式にしたまま、欄の右側に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目名のみを示す。内容は別紙で示す。

(B)

・ 満3歳～4歳児の記録、5歳児の記録を分け、5歳児について、欄の右側に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目名と内容を示す。

・ 記載欄や文字を若干大きくしている。

(C)

・ 満3歳～4歳児の記録、5歳児の記録を分け、5歳児について、欄の右側に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の項目名のみを示す。内容は別紙で示す。

・ 記載欄や文字を若干大きくしている。特に5歳児の様式は留意点が目立つように文字を大きくしている。

※学籍に関する事項については、特段の変更を予定していないため添付していない。

※特別支援学校幼稚部幼児指導要録は、幼稚園幼児指導要録の改善と同様の改善を行うとともに、現行の「入学時の障害の状態等」及び「自立活動の内容に重点を置いた指導」の欄は現行と同様に設けることとする。